

令和4年度 公益財団法人日立市公園協会 事業報告

本協会は、日立市かみね公園内「ゆうえんち」及び「レジャーランド」の遊戯施設運行、飲食及び販売事業を展開し、さらに来園者へ「かみね公園」の四季折々の魅力を楽しんでいただくために、年間を通して季節に応じた様々なイベント等を開催しています。

あわせて、日立市が設置した観光レクリエーション施設である「奥日立きららの里」、健康増進施設である「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の指定管理者として適正かつ効率的な管理運営を行っております。それら5つの施設運営等を通し、日立市民を始め、市外・県外から多くの来園者に憩いの場を提供することにより、福祉の増進と地域活性化に寄与すべく努めています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、感染拡大防止の観点から比較的に大規模なイベントは中止としました。その一方、できるだけ多数の来園者の皆様が楽しんでいただけるよう、小規模なイベントを例年より多く開催しました。

なお、各施設の運営に当たりましては、国の新型コロナウイルス感染拡大防止の規制緩和の動向、日立市の状況や意向を踏まえ、一部利用者数の制限を行いながら、引き続き、施設内各所への消毒液や飛沫防止シート設置など、利用者及び従業員の感染予防策を十分に講じながら、安全衛生管理に努めました。

以上のとおり、令和4年度は大きなイベントの開催は見送りましたが、全従業員一丸となり、常に来園者に満足していただくことを意識した事業運営を行ったところ、諸施設の利用者数及び事業収入とも、コロナ禍前を上回る増員、増収となり、公益法人としての健全経営を図ることができました。

I 事業内容

1 公益目的事業【市民福祉事業】

かみね公園内に立地する「レジャーランド」及び「ゆうえんち」、さらには日立市から受託している「奥日立きららの里」、「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の管理運営事業のほか、小規模イベントの開催や自主事業として各種教室等を展開するなど、利用者に満足していただけるサービスの提供に努めました。

(1) かみね公園の事業

ア かみね公園全般の事業

例年は、日立市の代表的な催事として、日本のさくら名所百選に選定されているかみね公園と平和通りを中心とした「日立さくらまつり」の開催に伴い、本協会もかみね公園会場運営の一部を担っておりますが、令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため3年連続で中止となりました。加えて、夏の風物詩となっております「日立あんどんまつり」もコロナ禍の状況が見通せないため、やむなく中止といたしました。

このように、公園内での各種事業は、中止や規模を縮小しましたが、開催に当たりましては日立市や関係団体と連携し、本協会の本旨であります来園者に少しでも公園の魅力を感じながら楽しんでいただけるよう心を込めたサービスの提供に努めました。

かみね動物園における「夜の動物園」の開催に合わせた開園時間の延長や「秋まつり」、「正月イベント」、「冬のイベント」及び「スプリングフェスティバル」など、小規模イベントが中心となりましたが、恒

例となっている催事は順次、開催しました。

その結果、徐々に来園者が戻り、ほぼ毎月、前年度の来園者数を上回ることができ、年間では直近のコロナ禍前の令和元年度を上回る来園者数及び事業収入となりました。

イ レジャーランドの事業

「レジャーランド」は、ジェットコースターや大観覧車等の比較的に大型の遊戯施設を有する遊園地です。例年は、子どもたちが楽しみにしているキャラクターショーや低廉な料金でのりものを利用できる乗り放題デー等を開催しますが、前年度と同様に感染症防止のためにキャラクターショーは中止し、乗り放題デー等のイベントは規模を縮小して開催しました。

その一方、来園者が少しでも楽しんでいただけるよう、まつり期間中のお菓子等のプレゼント、利用料金を割引するのりものタイムサービスや先着によるのりもの料金無料など小規模イベントを数多く開催しました。

また、長期の改修期間を要したドリームコースター休止の11月15日から翌年の3月11日に入園料無料として、少しでも多くの方々に利用していただけるよう、来園者サービスに努めました。

ウ ゆうえんちの事業

「ゆうえんち」は、動物園に併設されており、比較的低年齢層の来園者が多く、来園した幼児・児童等が家族や友だちとのふれあいや思い出づくりの場として、子どもたちの健全な成長に寄与するとともに、遠足シーズンには、子どもたちの校外学習となるなど、教育の一端も担う施設

です。この施設につきましても、新型コロナウイルス感染症の状況を十分に踏まえ、利用者層に合わせた七五三時期の千歳飴プレゼント、ハロウィンイベントや冬の動物園&ゆうえんちまつり等を開催するなど、小規模なイベントを数多く開催しました。

(2) 受託事業

「奥日立きららの里」、「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の3施設は、平成18年度に日立市から指定管理者として指定され、以降、継続して管理運営を担っています。

令和4年度は指定期間5年の2年目ですが、引き続き日立市の意向を十分に踏まえ、感染防止策を徹底しながら、諸施設の特性を活かした事業を展開し、安全かつ効率的な管理運営に努めました。

ア 奥日立きららの里の事業

「奥日立きららの里」は、利用者の健康の増進と山村地域の振興に寄与するという施設の目的を踏まえて、市内外の方々に自然に親しみ、自然とふれあう場として広く利用していただけるよう、施設の管理運営を行いました。

令和4年度も前年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、春まつり、秋まつり、レクリエーション大会など規模の大きなイベントを中止としましたが、来園者の密を回避できるウォーキングラリーや小規模イベントを数多く開催し、入場者増に努めました。

イ 日立市ホリゾンかみねの事業

「日立市ホリゾンかみね」は、市民の研修、教養及び余暇活動施設とし

て市民の余暇活動の充実及び福祉の増進を図るという目的を踏まえて、管理運営を行いました。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、浴室等を有する地階施設の利用者数の制限等を行うとともに、自主事業としてエアロビクス教室や各種体操教室等を開催しました。

また、前年度に続き、市民ボランティアによる1階ベランダ植栽の充実、ロビーの一部をギャラリーとして市民に無料開放して写真展や押し花絵展を開催すること等、施設の有効活用等により、利用者増に努めました。

ウ 日立市かみね市民プールの事業

「日立市かみね市民プール」は、市民の体位向上及びレクリエーションの場として市民の心身の健全な発達及び福祉の増進を図るという施設の目的を踏まえて、管理運営を行いました。

令和4年度も利用制限を行いながら、自主事業として水泳教室、水中エアロビクス教室及び水中ウォーキング教室の開催等により、利用者増に努めました。

2 収益事業【販売事業】

かみね公園及び奥日立きららの里等における便益事業として、感染防止に十分配慮しながら物品販売や出店等を行い、公共の福祉増進に寄与する活動を行うための資金確保に努めました。

(1) 施設内販売事業及び出店事業

施設内販売事業は、恒常的な販売事業のほか、更なる収益増を図るためオリジナル商品、新規メニュー及びオリジナルメニューの開発を行うとともに、季節ごとのメニューの販売を行いました。

出店事業は、日立市長杯選抜野球大会をはじめ、都市対抗野球茨城県大会及び全国高等学校野球選手権茨城大会の際に、日立市池の川運動公園売店に出店しました。また、道の駅日立おさかなセンターへ秋の週末を中心に売店しました。

(2) カーニバルコーナー運営事業

レジャーランド内において、大型のゲーム機を設置し、専用コーナーを設け、100円から200円の利用料金で、各々のゲーム機による得点に応じ、ぬいぐるみ等の景品を提供しました。

(3) プレイランド運営事業

レジャーランド内において、100円から200円の投入式ゲーム機及び定置式のりもの等を設置したゲームコーナーを設けて運営しました。

また、令和4年度からレンタル業者からの委託によるゲーム機を増やし、収益増に努めました。

II 管理施設の利用状況及び売上実績

1 利用状況

(1) かみね公園

(単位：人)

区分	遊園地	レジャーランド	市民プール	ホリゾン	合計
4年度	390,352	81,442	46,592	41,886	560,272
3年度	278,347	54,743	36,481	30,410	399,981
増減	112,005	26,699	10,111	11,476	160,291

※ 遊園地利用者数は、動物園利用者数を計上

(2) きららの里

(単位：人)

4年度	51,854
3年度	43,483
増減	8,371